



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5918 URL <http://www.takigami.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上晶義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 瀧上定隆 TEL 0569-89-2101  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,817	37.2	1,161	78.9	1,374	58.9	1,058	—
27年3月期第3四半期	10,072	45.7	649	425.0	864	181.1	8,458	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,063百万円 (△88.2%) 27年3月期第3四半期 9,009百万円 (456.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	43.86	—
27年3月期第3四半期	372.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	43,005	35,317	82.0	1,462.14
27年3月期	44,189	34,499	78.0	1,427.78

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 35,285百万円 27年3月期 34,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	30.7	1,350	67.2	1,550	48.1	1,150	△86.8	47.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	26,976,000株	27年3月期	26,976,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,842,963株	27年3月期	2,835,206株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	24,137,723株	27年3月期3Q	22,735,998株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の底堅さと消費者物価の緩やかな上昇、企業収益や雇用情勢に若干の改善傾向が見られるものの、アジア地域や欧米向け輸出の弱含みや、原油価格の続落など、景気の先行きは依然として不透明な中で推移しました。

当社は、平成26年9月1日の株式交換により、瀧上建設興業株式会社、丸定運輸株式会社、丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所及び中部レベラー鋼業株式会社の6社を、当社の連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加し、前第3四半期連結会計期間より、上記6社の業績を連結損益計算書に含めております。このため、「材料販売事業」と「運送事業」における当第3四半期連結累計期間の前年同期比較については大幅な乖離があります。

当第3四半期連結累計期間における連結損益は、完成工事高138億1千万円(前年同期比37億4千万円増・37.2%増)、営業利益11億6千万円(前年同期比5億1千万円増・78.9%増)、経常利益13億7千万円(前年同期比5億円増・58.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億5千万円(前年同期比は、前第3四半期連結累計期間に計上した「負のれん発生益」などの影響により74億円減・87.5%減)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

鋼構造物製造事業におきましては、橋梁発注量の減少傾向が見られる厳しい受注環境の中で、当第3四半期連結累計期間の総受注高は107億1千万円(前年同期比38億4千万円減・26.4%減)となりました。損益につきましては、10月～12月の工場稼働は非常に高い水準で推移したことや、大型の設計変更の獲得などにより、完成工事高120億7千万円(前年同期比28億2千万円増・30.6%増)、営業利益10億6千万円(前年同期比4億6千万円増・76.2%増)となりました。

不動産賃貸事業につきましては、依然として賃貸アパートの需要は低調に推移するなか、前年同期水準の売上高3億3千万円(前年同期比5百万円増・1.8%増)、営業利益2億1千万円(前年同期比1百万円増・0.5%増)となりました。

材料販売事業につきましては、売上高34億8千万円(前年同期比26億2千万円増・302.1%増)、営業利益7千万円(前年同期比6千万円増・767.2%増)となりました。

運送事業につきましては、売上高4億6千万円(前年同期比3億2千万円増・229.1%増)、営業利益1千万円(前年同期比8百万円増・165.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は430億円(前連結会計年度末比11億8千万円減・2.7%減)となりました。流動資産は、231億1千万円(前連結会計年度末比32億6千万円減・12.4%減)、固定資産は、198億8千万円(前連結会計年度末比20億7千万円増・11.7%増)となりました。

負債は76億8千万円(前連結会計年度末比20億円減・20.7%減)となり、それぞれ、流動負債は38億円(前連結会計年度末比20億円減・34.5%減)、固定負債は38億8千万円(前連結会計年度末比4百万円増・0.1%増)となりました。純資産は、353億1千万円(前連結会計年度末比8億1千万円増・2.4%増)となりました。

この結果、自己資本比率は82.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年2月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	16,068	11,266
受取手形・完成工事未収入金等	8,124	9,608
有価証券	700	1,000
商品及び製品	43	44
未成工事支出金	764	518
材料貯蔵品	172	161
その他	510	520
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	26,378	23,115
固定資産		
有形固定資産	7,633	7,471
無形固定資産		
ソフトウェア	67	51
その他	18	17
無形固定資産合計	86	68
投資その他の資産		
投資有価証券	9,312	11,566
長期預金	500	500
その他	278	283
投資その他の資産合計	10,090	12,349
固定資産合計	17,811	19,889
資産合計	44,189	43,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,876	2,635
未成工事受入金	1,942	373
未払法人税等	348	150
工事損失引当金	132	36
引当金	224	71
その他	289	540
流動負債合計	5,814	3,808
固定負債		
引当金	231	225
退職給付に係る負債	835	843
繰延税金負債	2,632	2,631
その他	176	179
固定負債合計	3,875	3,880
負債合計	9,689	7,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	389	389
利益剰余金	30,234	31,051
自己株式	△1,468	△1,473
株主資本合計	30,516	31,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,985	3,983
退職給付に係る調整累計額	△34	△27
その他の包括利益累計額合計	3,951	3,956
非支配株主持分	31	31
純資産合計	34,499	35,317
負債純資産合計	44,189	43,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
完成工事高	10,072	13,817
完成工事原価	8,640	11,580
完成工事総利益	1,431	2,236
販売費及び一般管理費	782	1,075
営業利益	649	1,161
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	162	152
持分法による投資利益	18	—
賃貸収入	18	46
その他	7	16
営業外収益合計	222	229
営業外費用		
為替差損	0	0
自己株式の取得に関する付随費用	4	4
賃貸費用	2	10
保険解約損	—	1
営業外費用合計	7	16
経常利益	864	1,374
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	235	0
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	9
段階取得に係る差益	225	—
負ののれん発生益	7,820	—
特別利益合計	8,280	9
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	7
会員権売却損	1	—
段階取得に係る差損	789	—
特別損失合計	790	8
税金等調整前四半期純利益	8,354	1,375
法人税、住民税及び事業税	66	260
法人税等調整額	△172	56
法人税等合計	△105	316
四半期純利益	8,460	1,058
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,458	1,058

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	8,460	1,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	551	△1
退職給付に係る調整額	1	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	—
その他の包括利益合計	548	5
四半期包括利益	9,009	1,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,007	1,063
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,247	333	445	26	10,053	19	10,072	—	10,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	422	115	537	—	537	△537	—
計	9,247	333	867	141	10,590	19	10,609	△537	10,072
セグメント利益	603	211	8	5	828	6	835	△186	649

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△537百万円及び「セグメント利益」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△183百万円等を含んでおります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、平成26年9月1日の株式交換により、瀧上建設興業株式会社、丸定運輸株式会社、丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所及び中部レベラー鋼業株式会社の6社を当社の連結子会社として連結の範囲に含めたことから、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加いたしました。

これに伴い「鋼構造物製造事業」セグメントの資産は3,955百万円、「材料販売事業」セグメントの資産は3,335百万円、「運送事業」セグメントの資産は777百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

上記の「2. 報告セグメントごとの資産に関する情報」に記載の通り、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加いたしました。

なお、新規の連結子会社6社については、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としたことから、当第3四半期連結会計期間の損益計算書より連結しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,076	339	1,286	96	13,798	18	13,817	—	13,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,202	369	2,571	—	2,571	△2,571	—
計	12,076	339	3,488	466	16,370	18	16,388	△2,571	13,817
セグメント利益	1,064	212	71	13	1,362	5	1,367	△206	1,161

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△2,571百万円及び「セグメント利益」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△208百万円等を含んでおります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	8,395	83.3	8,685	62.9	11,215	79.2
鉄 骨	852	8.5	3,390	24.5	1,554	11.0
小 計	9,247	91.8	12,076	87.4	12,770	90.2
不 動 産	333	3.3	339	2.5	443	3.1
材 料 販 売	445	4.4	1,286	9.3	852	6.0
輸 送	26	0.3	96	0.7	65	0.5
そ の 他	19	0.2	18	0.1	24	0.2
合 計	10,072	100.0	13,817	100.0	14,156	100.0

(2) 受注高

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	10,589	72.7	10,447	97.5	15,948	77.8
鉄 骨	3,968	27.3	263	2.5	4,556	22.2
合 計	14,557	100.0	10,710	100.0	20,504	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (平成26年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成27年12月31日)		前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	11,789	73.8	16,090	94.3	14,328	77.8
鉄 骨	4,180	26.2	964	5.7	4,091	22.2
合 計	15,969	100.0	17,054	100.0	18,419	100.0